

わが

「豊かにいつまでも安心して暮らせるまち」の実現に向けて

士別市について

本市は、北海道北部の中央に位置し、道立自然公園「天塩岳」をはじめとする山々に囲まれ、北海道第2の大河「天塩川」の流域にある水と緑豊かな田園都市です。

明治32年に、最北で最後の屯田兵の入植によって開拓の鉞が下された旧「士別市」



6haを超える大規模ほ場での水稲生産

は、昭和29年に町村合併により市制を施行しました。一方明治38年の御料地貸下げによって開拓の歴史が始まった旧「朝日町」は、昭和37年に町制を施行しました。

現在の「士別市」は、平成17年に、旧「士別市」と旧「朝日町」が合併して誕生しています。

積雪寒冷・寒暖差を強みに地域性を生かしたまちづくり

気候は、四季の変化がはっきりとした内陸性気候で、5月から9月上旬までは比較的高温多照に恵まれますが、気温の日較差が大きく、年較差も大きなものとなっています。また、11月中旬から降り始め、まちを約半年にわたって白く覆う雪は、平地でも1m、山間部では2mを超えるなど、積雪寒冷な豪雪地帯でもあります。

本市では、これらの自然環境を地域資源として生かしたまちづくりを進めています。

基幹産業である農業では、昼夜の温度差と天塩川の肥沃で広大な

農地・水が、低たんばくで甘みが強いお米、栄養素を多く含む良質な大豆、甘くてホクホクな馬鈴薯のほか、野菜やてん菜、乳用牛・肉用牛、豚の飼育など、多種多様で数え切れないほどです。

夏の冷涼でさわやかな気候は、スポーツ合宿に適しており、日本陸上競技連盟や日本実業団陸上競技連合、全日本スキー連盟などの強化合宿地としても利用され、来市する方は年間2万人を超えます。また、毎年、国内トップクラスのアスリートが多数参加するハーフマラソン大会やサマージャンプ大会などのスポーツイベントも積極的に開催するとともに、近年は、全天候型の陸上競技場やオールシーズン利用可能なスキージャンプ台の改修など、競技者目線での環境を整えています。



士別ハーフマラソン大会

冬の積雪寒冷な環境は、自動車などの試験研究に適しており、東洋でも有数の規模を誇るトヨタ自動車のテストコースをはじめ、ダイハツ、プリヂストン、ヤマハ、交通科学総合研究所など数多くの試験・研究施設があります。

これらの本市の「強み」は、交流人口の拡大や地域経済に大きく寄与しています。また、これまでの諸先輩方が残した大きな財産でもあり、私自身も、その気概を持ちつつ「営業マン」のトップとして合



黒い顔と手足が特徴のサフォーク羊

令和3年にオープンした「羊のまち侍・しべつ」は、中心市街に立地する民設民営の道の駅であり、地域の食と観光を

宿チームの招致活動に自ら足を運ぶなど、活性化に向けたセールスに取り組んでいます。
「共創」によるまちづくり
 まちを元気に
 本市の特徴の一つであるサフォーク羊を生かしたまちづくりは、昭和50年代の市民有志・団体など民間が主体となって取り組んだのが契機です。
 ブランド羊肉「士別サフォークラム」は、肉に適度なサシが入り、歯ごたえはあるがしつかりとかみ切れるほどの柔らかさ、そして、羊独特の匂いが少なく食べやすいと好評です。羊毛や羊皮を原料としたニット製品・レザークラフト

つなぎ届ける施設です。地域住民と観光客の交流の場としての機能も兼ね備えており、新たに起業する人たちに向けたチャレンジショップのスペースを併設するなど、街中のにぎわいに貢献しています。
 令和6年に設立した移住定住交流促進協議会「Mazaru」は、構成は地域の若者や女性たちが、「地域のひとまちがつながり、 magari あい一つになることで、未来を創りたい」との思いから生まれました。移住体験ツアーや情報発信の移住定住や地域おこし協力隊などに関する取り組みで、地域一体となったまちづくりを目指しています。
 こうした取り組みは、行政だけではなく、市民をはじめ市内企業・団体などの地域力があってチャレンジできる、まさに「共創」によるまちづくりの象徴であり、この地域力が元気なまちの源となると思っています。

「持続可能」で「幸福」を感じられるまちづくり

本市は、多くの地方自治体と同様に人口減少と少子高齢化が顕著

の中で、今後もさらに加速することが想定され、2050年には、本市の人口が90000人を割り込み、人口のうち2分の1以上は高齢者になると予測されます。また、財政的にも決して良い状況とは言えません。
 これまで、複数回の合併で広域分散型の特性を持つ本市では、今後の人口規模を見据えた公共施設の最適化を進めることが重要な視

点の一つとなっています。これは、決して簡単ではなく市民や関係団体などとの丁寧な調整・議論が必要となります。将来世代に負担を先送りしないよう、行政機能の最適化と安定した行政サービスの両立を目指しつつ、地域力や人と人とのつながりで、豊かで安心して生活できる「士別に住んで良かった」と思えるまちづくりを進めたいと考えています。

プロフィール

- ◆ 面積 1119.22km²
- ◆ 人口 1万5985人
- ◆ 世帯数 8603世帯

〔将来都市像〕天塩の流れとともに人と大地が躍動するすこやかなまち
 〔まちの特徴〕天塩岳をはじめとする山々に囲まれ、天塩川の源流域にある水と緑豊かな田園都市

〔市町村合併〕平成17年9月1日、旧士別市と旧朝日町とが合併



士別市長
渡辺英次



〔特産品〕士別産サフォーク羊、農畜産物(米・麦・馬鈴薯・牛肉)、ビー トオリゴ糖、トマトジュースなど
 〔観光〕羊飼いの家、世界のめん羊館、めん羊工芸館、天塩岳、岩尾内湖、道の駅(羊のまち侍・しべつ)など
 〔イベント〕ハーフマラソン大会、全日本サマージャンプ大会、ノルディックスキー大会、天塩川源流まつりなど

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

わが

みんながつながる
「健幸」都市を目指して！

大和市は、神奈川県ほぼ中央に位置する、約27km²のコンパクトな市です。東京都心や横浜へのアクセスが抜群に良いことから、首都圏のベッドタウンとして発展してきました。

本市の歴史をひもとくと、日本最古級の土器が出土していることから、縄文時代から人々がこの地に住んでいたことが明らかになっています。

江戸時代に入ると交通の要衝として、宿場町としての役割も果たすようになり、多くの旅人や商人が行き交い、地域の経済が活性化しました。その後、大正時代以降の林間都市開発と昭和34年の市制施行を経て、高密度な住宅地と商業地が発展してきました。

また、本市に所在する厚木基地には、南北に延びる滑走路があり、その延長線上には住宅密集地域が広がっていることから、市内は長らく

航空機の甚大な騒音被害にさらされてきました。本市では市民、議会、

行政が一体となり、長年にわたりこの騒音被害の解消に取り組み続けたことで、在日米軍の再編に伴い、平成30年には、米海軍の空母艦載機部隊の移駐が実現しました。

これからも、在日米軍の動向、国防衛政策、そして、それらが厚木基地へ及ぼす影響などしつかりと見極めながら、将来的な厚木基地の活用なども見据え、新たな関係の構築につなげていきたいと考えております。

抜群の利便性と交通網

市内には、小田急江ノ島線、相模鉄道本線、東急田園都市線の鉄道3路線が乗り入れ、八つの駅が市内に点在し、市域のほとんどが駅まで15分以内の徒歩圏内にあります。ま

た、道路網も国道16号、246号、467号のほか、県道4線が縦横に

走り、東名高速道路インターチェンジにも近いなど、交通の利便性に恵まれています。住みやすさとアクセシブリティを兼ね備えた本市は、子育て支援にも注力していることから、人口減少時代に突入しているわが国においても、市制施行以来、一貫して右肩上がり人口が増加しています。

清掃に関する取り組み

メジャーリーガーの大谷翔平選手は、フィールドやベンチに落ちたごみを拾うことがよくあり、その様子がたびたびメディアに取り上げられています。

大谷選手のこの行動は、高校時代に監督から「ごみを拾うことで運を拾う」と教わって以来、意識的に取

り組んでいるようですが、くしくも、私も全く同じ考えを持っており、若い頃から、目の前に落ちていたごみを拾い続けてきました。

そこで、2025年8月、幅広い年齢層が参加できる新たな清掃イベントとして「LUCKY GET大作戦」ごみ拾いは運氣をあげる」を開催いたしました。「LUCKY GET大作戦」は、従来の清掃活動に「宝探し」の要素を加えた本市独自の清掃イベントで、小さなお子さまでも楽しみながら清掃活動に参加することができました。また、さまざまな企業や団体にご支援いただき、景品や、参加者への記念品などを提供していただいているほか、沿道整備などの大会運営にもご協力いただいております。今後も、企業や行政のお互いの強みを生かし、より魅力あるイベントにしていきたいと考えています。

ほかにも「ポケモンピカピカ団 with 大和市」や「スポGOMI」などを実施しており、引き続き、さまざまな世代が参加できる清掃イ



阿波おどり



エンジョイスポーツ



清掃イベント

イベントを企画しながら、ごみの散乱のない、清潔できれいなまち並みの維持に努めてまいります。

エンジョイスポーツ

私は運動やスポーツの重要性に着目し、特に小学生時代の成長期に運動やスポーツに親しむことは、生涯にわたり健康な心と体づくりにつながると考えています。そこで、放課後の時間を活用して、市内でスポーツ活動を行っている団体などから指導員（放課後エンジョイコーチ）と呼称を派遣していただき「放課後児童のエンジョイスポーツ」を開催しています。走る、飛ぶ、投げなど身体をバランスよく動かすことで、体力の向上につなげ、仲間への思いやりを育むと同時に、負けたくないという競争心（気持ち）も育てるほか、地域のスポーツ関係者やボランティアの学生などとの会話を通して、コミュニケーション能力の向上にもつながります。身体だけでなく、精神面や社会性の側面における児童の成長、新たなこどもの居場所づくりを目的としています。

神奈川大和阿波おどり

大和駅の地元商店街のイベント

として始まり、今では「関東三大阿波踊り」と呼ばれるまでに発展を遂げた「神奈川大和阿波おどり」。中大売り出しを盛り上げるために始めたささやかなイベントが、長い年月をかけて地域の魅力的な祭りとして成長、本年度で第50回を迎えます。毎年、7月の第4土・日曜日に開催され、多くの観客を引きつける一大イベントとなっています。

路上で演舞しながら移動する「流し踊り」を基本とし、駅周辺の路上に仮設した演舞場で踊りを披露する「組み踊り」を披露します。大和の阿波おどりの魅力は、観客との距離が非常に近く、かねや太鼓の音、汗や息遣いがじかに伝わり、祭りの一体感を感じることが出来ます。飛び入り参加が可能です「にわか連」もあり、阿波おどりの経験のない一般の方やお子さまも気軽に参加でき、見ても踊っても楽しめる大和の夏の風物詩となっています。

ぜひ、今年の阿波おどりに足を運んでいただき、その魅力を堪能してください。

防災（受援計画）

本市は、地盤が固く土砂災害警戒区域も少なく、沿岸部から離れて

いることから、これまでの自然災害における死者が市制施行以降「0（ゼロ）」であり、災害に強いまちと言えます。しかしながら、今後想定されている地震などによっては、大きな被害を受ける危険性は少なからずあります。

そこで、平時から被災していないエリアからの応援をスムーズに受け入れられる体制の整備が重要となるため、「大和市災害時受援計画」

プロフィール

- ◆ 面積 27・09 km²
- ◆ 人口 24万6335人
- ◆ 世帯数 12万4344世帯

〔将来都市像〕「みんながつながる健康都市やまこ」

〔まちの特徴〕自然環境の豊かさ、充実した商業施設、優れた教育環境、地域文化の継承、持続可能なまちづくりと多様な特徴を持つまち

〔特産品〕和み、やまと最中、泉の森（和



大和市長 古谷田 力



菓子）、やまと太鼓（和菓子）、レーズンクッキー、湘南ポテト、ヤマトン緑茶コーフレットなど
〔観光〕泉の森、上和田野鳥の森、ふれあいの森、宇都宮記念公園、多胡記念公園（慈縁庵）、郷土民家園
〔イベント〕神奈川大和阿波おどり、やまと市民まつり、洪祭、大和市駅伝競走大会、スポーツフェスタ、大和・綾瀬スポーツフェスティバル

の策定を進めてまいりました。災害発生時には、この計画に基づいて本市の受け入れ体制を構築することで、円滑な災害応急活動につなげてまいります。加えて、本年3月に公表された神奈川県地域防災計画の修正内容を踏まえ、新年度には、本市も「大和市地域防災計画」の修正に着手し、地震をはじめとする災害に、より適切に対応できるよう取り組んでまいります。

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

わが

みんなで創る、安全・安心のもと 健康でいきいきと暮らせるまち

花と笑顔が彩るまち、御坊

和歌山県の中央部に位置する御坊市は、海に面し、山に囲まれた自然豊かなまちです。黒潮の影響を受け、年間を通して温暖な気候に恵まれており、その特性を生かした農業が基幹産業です。穏やかな気候と多様な地形がもたらす恵みは、地域の産業を支えるだけでなく、日々の暮らしの風景や人と人とのつながりを育んでいます。



出荷量全国1位を誇る「スターチス」。花言葉は「変わらぬ心」

本市は「花のまち」として知られ、ビニールハウスではガーベラやバラをはじめ、生産量全国トップクラスを誇るスターチス、かすみ草など、多彩な花が栽培されています。



日高平野は海・山・川に恵まれ、穏やかで暮らしやすさが魅力

一年を通してさまざまな花に出会えるのは、本市ならではの魅力です。大切に育てられた花々は市内外へ出荷されるだけでなく、暮らしや行事の場面を彩っており、花作りに携わる生産者の技術と努力が、本市のブランドを支えています。

また、ミカン、メロン、イチゴ、

スイカなどの果樹栽培も盛んで、季節ごとの恵みを視覚と味覚の両方で楽しむことができます。採れたての味わいと香りは本市の魅力を実感していただけるもので、来訪される方々にも大変好評です。自然の豊かさを身近に感じられることは、暮らしの豊かさそのものと言えます。

子どもから高齢者まで、 毎日いきいきと

本市では、子どもから高齢者まで、誰もがいきいきと過ごせる環境づくりを推進しています。市内外の多くの方に親しまれている御坊総合運動公園には、ウォーキングコースをはじめ、本市公認PRキャラクター「みーやちゃん」デザインの子ども向け遊具「みーやちゃんのカップスルコンビ」や、気



遊びアイテムを28個詰め込んだ「みーやちゃんのカップスルコンビ」

軽にストレッチができる健康遊具を設置し、子どもたちの遊び場や世代を超えた交流の場となっています。

また、「ステキ体操GO!GO!GOBO」や、地域のデイケアサロンなどで取り組む「いきいき百歳体操」など、健康づくりの取り組みを身近なものとして広げていきます。日常の中で無理なく続けられる内容とすることで、健康増進はもとより、健康寿命の延伸、地域の交流のきっかけにもつながっています。顔を合わせ、声をかけ



子どもから高齢者まで誰もが親しめる体操「ステキ体操 GO!GO!GOBO」



麻雀の聖地わかやま御坊プロジェクトとして、毎年、「健康マーチンペアフェスタ」を開催

合う機会が増えることは、見守りや支え合いにもつながり、安心して暮らせる地域づくりの基盤となります。

さらに本市では、

「みんながつながるみんなにひろがる麻雀の和」をスローガンに、健康マーチン全国大会を開催しており、老若男女、全国各地から多くの方々にお越しいただいています。健康マーチンには、多くの情報を読み取り、記憶し、論理的に考えることで、機能の活性化や認知症予防にも効果があると言われ、世代を超えた交流や生きがいづくりの場としても親しまれています。参加者同士が自然に会話を交わし、地域の魅力に触れていただけることも、大きな意義の一つです。

御坊から、あなたへ

本市では、市外の方々にも本市

を身近に感じていただく「御坊ファン」の創出にも力を入れていきます。観光で訪れるだけでなく、応援してくださる方、学びや仕事で関わる方など、多様なつながりが広がることは、地域の力になります。

シティプロモーション大使には、ボーカルが本市出身のロックバンド「キュウソネコカミ」、そして本市出身の読売ジャイアンツ・泉口友汰選手にご就任いただき、市民の皆さまの温かい声援を力に、本市の魅力を市内外へ発信していただいております。認知度やイメージの向上につなげるとともに、市民の「愛着」と「誇り」を育み、地域の魅力を次の世代へつないでいきたいと考えています。

加えて、幅広い世代に親しまれる新たな拠点としてスケートパーク整備にも取り組んでいます。新広がるまちを目指しています。新しい施設や活動が生まれることで、若い世代を中心に「集う」「挑戦する」機会が増え、まちの活力向上にもつながります。訪れる方が増えることは地域のにぎわいづくりにも寄与し、本市を知り、好きになっていただくきっかけにも

なります。スポーツや文化活動を通じて生まれる出会いが、新しい挑戦や地域の協力の輪へと発展することを期待しています。

人と自然が調和し、笑顔と活力あふれるまちへ

本市では、令和3年度から令和12年度までを計画期間とする「第5次御坊市総合計画」を推進しており、現在、折り返しの節目を迎えています。

プロフィール

- ◆ 面積 43・91km²
- ◆ 人口 2万642人
- ◆ 世帯数 1万629世帯

〔将来都市像〕人と自然が調和し、笑顔と活力あふれる御坊

〔まちの特徴〕海・山・川の自然に恵まれ、さまざまな時代の建物が残る自然と歴史、ロマンあふれるまち

〔特産品〕花卉（スターチス、かすみ



御坊市長 三浦源吾



草など)、イチゴ、スイカ、メロン、ミカン、しょうゆ、金山寺みそ

〔観光〕寺内町、野口オートキャンプ場、御坊総合運動公園、s i o t o p、G O B O スケートパーク、紀州鉄道

〔イベント〕御坊市花火大会、宮子姫子どもまつり、きのくに口ポットフェスティバル、La Festa Primavera、健康マーチンペアフェスタ

「生まれて住んでよかったまち御坊、誰もが住みたいまち御坊」——その実感を一人でも多くの皆さまに持っていただけるよう、明るく、楽しく、前向きに、市政を進め、本市をさらに盛り上げてまいります。

花に彩られ、人がつながり、笑顔が広がる御坊。ここにしかない魅力を大切に育みながら、市内外そして全国の皆さまへ広く発信してまいります。

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

わが

将来が楽しみになるまち指宿の 実現に向けて

はじめに

指宿市は、鹿児島県薩摩半島の最南端に位置し、中央部には九州一の大きさを誇る池田湖、南西部には薩摩富士の別名で呼ばれる秀峰開聞岳、東部には潮の満ち引きで陸続きになる、環境省の「かおり風景百選」に認定された知林ヶ島など、豊かな自然に恵まれています。また、オクラやソラマメ、かつお節の最高級品である本枯本節は生産量日本一を誇り、温暖な気候と豊かな自然環境を生かした食の宝庫です。さらに、本市の最大の特徴は、市内に1000カ所を超える温泉が湧き



天然砂むし温泉

市内に1000カ所を超える温泉が湧き



露天風呂「たまた箱温泉」

出しており、世界的にも珍しい「天然砂むし温泉」をはじめ、錦江湾と東シナ海を一望できる露天風呂「たまた箱温泉」など、多くの観光客が訪れる温泉のまちです。

逆境もバネに進化する 温泉のまち指宿

令和3年11月に、山川砂むし温泉

泉「砂湯里」近くのコンクリート舗装のり面が、突然崩落。3年もの間休業を余儀なくされ、隣接する絶景露天風呂「たまた箱温泉」を有する本市の一大観光地は危機に直面することとなりました。のり面復旧に向け、クラウドファンディング型ふるさと納税で寄付を呼びかけましたところ、全国多くの方々から目標金額を超える善意が寄せられました。この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。



のり面が崩落した砂湯里



改修後の砂湯里

に整備するなど、災害という逆境もバネに観光の目玉施設として再生することができました。

本市を代表する砂むし温泉については、筑波大学や鹿屋体育大学と連携し、健康効果について検証したところ、サウナや温浴と比較して身体への負担が少なく比較的安全に血圧低下の効果を得られることが確認できました。また、「指宿砂むし温泉」が「温泉総選挙2025『湯治ウェルネス部門』」において、2年連続で1位を獲得し、温泉のまち指宿として進化し続けています。

交流拠点整備による「にぎわい」づくり

現在、市民の憩いの場や観光の新たな魅力づくりを目的として、指宿港海岸整備を進めています。かつてはあった砂浜を取り戻そうと市民の熱意により、国の防災事業として整備を進めており、市も海岸背後を埋め立て、緑地の整備を進めています。これまで海岸の一部供用を開始し、本年度は試験的な海水浴場の開設を進める予定であり、海洋レジャーによる新たな観光交流拠点や魅力ある空間の形成などによる、にぎわいのある



整備中の指宿港海岸

海岸づくりを推進します。

また、指宿市の玄関口に位置する「道の駅いぶすき」については、平成16年に整備してから20年余りが経過し、施設や設備の老朽化が進んできました。現在、再整備に向け、民間の資金や経営ノウハウを生かしたPark PFI制度を活用し、準備を進めています。Park PFI制度を活用して道の駅の地域振興施設整備が実現すれば全国初の事例となります。

選ばれるまち指宿へ

全国的に人口減少が進んでいく中、「ひと」を制する者こそが地域間競争に生き残り、産業や企業間の戦いにも勝ち残れるとの思いから、これまで「ひと」を見つけて、「育てる」、「支援すること」を施策の中心に据えて取り組んできました。イターンに加え、Uターンもターゲットにした支援を積極的に展開し、併せて空き家の有効活用につながる施策も実施しています。また、これからの本市にとって、将来を担う子どもたちにもふるさとの素晴らしさを五感で体験してもらうことが大切だと

考えます。まちの特産品や観光資源、土台となる産業など、「指宿の最高の宝」を知り、体験することで、改めてまちの良さに気づき、自信を持って本市のことを自慢できるような教育に取り組むことにしています。

本市は本年、新市誕生20周年という節目を迎えました。「このまに生まれて良かった」、「住んで良かった」と実感できるまちづくりを進め、本市の将来を「楽しみ

プロフィール

- ◆ 面積 148・82km²
- ◆ 人口 3万6551人
- ◆ 世帯数 1万9507世帯

〔将来都市像〕みんなが好きになる！
将来が楽しみになるまち

〔まちの特徴〕観光業と農水産業を基幹産業とする、温暖な気候と豊かな自然に恵まれたまち

〔市町村合併〕平成18年1月1日、指



指宿市長
打越あかし



宿市、山川町、開聞町の3市町が合併
〔特産品〕オクラ、ソラマメ、スナックえんどう、本枯本節（かつお節）、観葉植物など
〔観光〕指宿砂むし温泉、たまたて箱温泉、池田湖、開聞岳、知林ヶ島、など
〔イベント〕いぶすきフラフェスティバル、指宿温泉祭、いぶすき菜の花マラソン、いぶすき菜の花マーチなど

にしてくれる」市民を一人でも多く増やしていくことに力を注ぐ所存です。
一方で、指宿を応援したいと思ったださる指宿ファンづくりに取り組み、10年後は、もつと「稼げるまち」に、20年後はトップクラスの「住みたいまち」に、30年後には、「誰もが一度は訪れたいまち」の実現に向け、これからも挑戦し続けます。

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。